

第1回ワークショップの結果概要

1 計画検討やワークショップの進め方について

1) 地域別実行計画の考え方や検討の進め方

- 施設を減らすことを考えるだけでなく、安くて住みやすい住宅を整備するなど、積極的に地域を活性化して人口を増やす努力をすることも必要ではないか。
- 次の世代に負の遺産を残すわけにはいかない。少子高齢化やコンパクトシティの視点から考えても、施設複合化などによる公共施設再編が必要だと思う。
- 人口減少社会に対応して公共施設を減らす必要があることは理解できるが、減らしすぎて不便にならないように、これまで提供されていたサービスの維持や高齢者のアクセスを考えてほしい。
- 公共施設再編のことだけではなく、魅力ある、住みたくなる地域にするにはどうしたら良いか、広い地域内のどのエリアに人口を集約させるのかといったまちづくり全体のことを考える必要があるのではないか。
- 将来的な人口減少に伴い、公共施設の再編をすることでコスト削減を目指すのであれば、施設数を減らすことだけでなく、そこで働く職員の削減も考える必要がある。施設の複合化は職員数の削減にもつながると思う。
- 富山市としては大山地域などの周辺地域よりも富山駅周辺に居住を推進したいと考え、そこに力を入れているように感じる。

2) ワークショップの進め方

- これまでも大山地域のまちづくり計画を市と住民とで話し合ってきた。大山行政サービスセンター周辺については既に要望も出しているので、そういった過去の経緯や提案内容も踏まえた上でワークショップの検討を進めてほしい。

- これからの地域を担う若者や子育て世代や人口の多い大庄地区からの参加者が少ないのが気になる。ワークショップへの参加が難しいのなら他の機会を作って、多様な意見を吸い上げ、反映してほしい。
- このワークショップが地域のまちづくりも検討する場なのであれば、検討対象とする施設の幅を広げ、民間施設や自然資産などについても話し合うべきではないか。
- 複合施設の先進事例を知りたい。その際、特定の方向に誘導されないように幅広く事例を選んでほしい。
- 大沢野地域と大山地域では市の力の注ぎ方が異なる。大山は何もしてもらっていないと思っている住民も多い。大沢野でも検討が同時並行で進むので動向が気になる。
- 説明を受けたが、ワークショップで話し合う公共施設の範囲やどの程度深く話せばよいのかがわからない。議論の準備をしきれていないところもある。

2 地区のまちづくりや公共施設について

1) まちづくりの現状と課題

■ 人口問題

- 地域内には若い人が増えている大庄のような所がある一方で、核家族化が進んで若い世代が市の中心部に移ってしまい、早いペースで人口が減少している所もある。大庄でさえ、このまま20年もたてば高齢化が進むだろう。公共施設や商業、地域の催しなどが成り立たなくなっていることに不安を感じる。
- 空き地や空き家が増えてきているので、住宅を整備するなどまちづくりのために活用することを考えてはどうか。

■ 生活圏・アクセス

- 地域が広く、上滝などの中心部と山間地では発展の度合いが違うので、居住エリアによって生活圏や利便性が異なる。
- 地域内にスーパーやドラッグストアがないため買い物が不便だ。アクセスのことも考えた上で店舗が整備されるとよい。
- 高齢になると車が運転できなくなるので、安価で使い勝手の良い公共交通の充実を図っていく必要があると思う。
- 将来的には自動運転が普及すると思うので、施設までの移動手段の確保として公共交通の拡充以外の解決策も考えられるのではないかな。
- 駐車場の広さも車でのアクセスの良さに影響するので、駐車場の整備も重要だ。
- 狭い道が多いため高齢者が運転していると危ない。もう少し広い道路を整備してほしい。

■ 経済活性化・観光

- 人口が減少し、商店の後継者もいないため地域経済が停滞している。企業誘致などを積極的に行ってまちを活性化する必要があると思う。
- 住民の視点から考えるだけでなく、県外から富山に来る人達の視点からも施設を考えてはどうか。人が集まるようになれば雇用も生まれる。
- レジャー施設は人を呼べるものだが、今は車があるので足を延ばして大規模な人気施設に行ってしまう。大山地域内でレジャー施設を維持するのは難しいのではないかな。

2) 公共施設の現状と課題

■ 集会施設

- 上滝公民館には 100 人規模で集まれる部屋がないので、必要な時には地域市民センターを利用している状況だ。

- 女性会がイベントで出店協力をする際などに調理スペースが必要だが、以前よりも場所が限られてきている。農村環境改善センターなどの調理室がある施設が廃止される場合には、他に場所を確保することを検討してもらいたい。
- 公民館の稼働率は示されたデータよりも良いのではないかという印象があるが、広い和室などの使い勝手のあまりよくない部屋は空きが目立つ。

■ 文化施設

- これまで大山文化会館で実施してきた成人式などの行事ができる場所が必要だ。大山文化会館のホールほどの広さでなくても良いので、200～300人が収容できるスペースがあるとよい。
- 音楽専門のホールではなく多目的スペースでも構わないので、住民の文化、芸術活動のための場を確保してほしい。
- 中学校を近く建て替える話があるので、新たな複合施設ができるまでの間に大人数が集まることのできる場所がなくなってしまうのではないかと心配だ。

■ 図書館

- 子育て世代が利用しているので図書館機能は残してほしい。リーディングプロジェクトの施設に複合すれば、多世代が利用しやすくなるのではないか。

■ レクリエーション・観光施設

- スキー場は周辺の自然環境も良く、大山地域の魅力のひとつといえる。外から人を呼べるものだと思うので、スキー場を残し、地域のまちづくり、魅力づくりの核にしたい。

- スキー場はスノーボード用の設備やスキーの後のアフターの場が整っていないために、客数が減少してしまった。他の地域に対抗するには新たな投資が必要になるので、道の駅などのスキー場に代わる観光の目玉が必要だと思う。

■ 学校

- 小学校の児童数が減っているなので、統廃合を進め、小学校を選択制にすることで校区外からの通学も積極的に促すなどして児童数を増やすべきだ。
- 小学校はいつかは合併することになると思っているが、登下校時の安全性や利便性が確保されるように、スクールバスの運行も含めたアクセス手段の検討をしてほしい。
- 小学校は避難場所にも指定されており、地域コミュニティの核になっているので、統合してなくなるのは困る。
- 夏場は熱中症等の危険があるので、公共施設の再編よりも先に学校にエアコンを設置してほしい。

■ 幼児・児童施設

- 大山には児童館がなく、現在の子育て支援センターは手狭な状況だ。児童館と子育て支援センターを併設した幼児から小学生までが利用できる施設があるとよい。呉羽会館にあるようなミニ児童館でも構わない。
- 小学校の統廃合だけでなく保育所の統合も進める必要があると思う。

■ 博物館等

- 大山歴史民俗資料館は今の場所のままでは来訪者の増加が見込めないのので、上滝の中心地に移転するか、呉羽にある市の民俗資料館と統合してはどうか。

■ その他

- 遊具のある公園や子どもの遊び場が少ない。小さな公園はあるが遊具が古かったり雑草が多く、十分な管理がされていない。
- 市民の交流の場となるイベントスペースがあると良い。孤立しがちな子育て世代が多世代と触れ合えるし、商工会などがイベントを企画しやすくなる。
- 上滝の上滝幼稚園と保健福祉センターの跡地を更地にしないのであれば、民間と連携をとり、建物を利用できるようにしたらどうか。
- どの公共施設も利用者は少ないが、駐車場スペースは十分すぎるほどあると思う。
- 若い世代は少し遠くても、お金を払ってでも自分の行きたいと思う良い施設があれば行くので、地域内の公共施設をほとんど使っていないのではないかな。

3 リーディングプロジェクトとなる複合施設

- 一カ所で行政の手続き、買い物、集会、学習などの用事が済ませられると、便利で住民が集いやすい施設になると思う。
- 機能を複合することで、子どもから高齢者までが利用でき、世代間交流が図られる施設にしてほしい。
- 現在の大山行政サービスセンターにある銀行や社会福祉協議会などの機能は、そのまま残してほしい。
- 多目的スペースなどの交流施設、ホールやサークル活動の場などの文化施設、子どもの遊び場や児童館などの子育て支援施設、スポーツ施設、スーパーやカフェなどの店舗、商工会支部センターや観光協会のサテライトといったものが複合できるとよい。

- 「よってかれ家」のような高齢者のたまり場になる場所があるとよい。運営面も参考にしてほしい。
- 公共施設にコンビニ、スーパー、銀行などの民間テナントを入れることを検討すべきではないか。買い物が不便な地域なので、まちづくりの点から考えてもそういった店舗が複合できるとよい。
- どこにでもあのような機能を合わせるのではなく機能を特化した特色ある施設にして、全国から注目されるようになるとよい。
- アクセスや防災面を考えると、複合施設の立地は現状の行政サービスセンターの場所がよいのではないか。
- 複合施設の立地については十分検討する必要があると思う。駅からのアクセスの良さを重視すると駅との複合も考えられる。
- 居住エリアによっては複合施設までが遠い。駐車場の確保や施設までの公共交通の充実など、交通アクセスについても同時に整備を進めてほしい。
- 複合施設が新たにできたとしても魅力がないと行かないと思う。活動の制限が少なく使い勝手が良い、集客力のあるイベントが開催されているなどのソフトが重要だ。企画ができる人材も必要だろう。